

0ATGC33 実験動物科学特論・同実習

2.0 単位, 1 年次, 春AB 金3-5

水野 聖哉, 濱田 理人

授業概要

適正な動物実験と遺伝子改変マウスの作製を学習し、マウスの基本的な取り扱い及び胚操作技術を習得する。

目標: ヒト疾病を研究するため遺伝子改変マウス利用について論じることができる。

備考

英語で授業。

対面

授業方法

講義及び実習・実験・実技

学位プログラム・コンピテンスとの関係

基礎知識の活用力、実践的能力

授業の到達目標（学修成果）

ヒト疾病を研究するため遺伝子改変マウス利用について論じることができる。

キーワード

動物実験、遺伝子改変マウス、マウス胚操作

授業計画

授業と実習は原則対面で行います。オンラインとする場合は授業担当教員から連絡します。

第1回	4月19日、3-5時限、医科学研究と実験用マウス	担当：水野 聖哉
第2回	4月26日、3-5時限、遺伝子改変マウスの作出法1	担当：水野 聖哉
第3回	5月10日、3-5時限、遺伝子改変マウスの作出法2	担当：水野 聖哉
第4回	5月17日、3-5時限、遺伝子改変マウスを用いた循環器研究	担当：村田 知弥
第5回	5月24日、3-5時限、遺伝子改変マウスを用いた生殖細胞研究	担当：康 宇鎮
第6回	5月31日、3-5時限、実験用マウスのデータベース	担当：久野 朗広
第7回	6月7日、3-5時限、実習（基本的動物実験1）	担当：水野 聖哉
第8回	6月14日、3-5時限、遺伝子改変マウスを用いた神経科学研究（仲柴俊昭）	担当：水野 聖哉
第9回	6月21日、3-5時限、実習（基本的動物実験2）	担当：水野 聖哉
第10回	6月28日、3-5時限、実習（生体イメージング）	担当：濱田 理人

履修条件

なし

成績評価方法

試験により評価する。

学修時間の割り当て及び授業外における学修方法

授業後には必ず復習すること。

教材・参考文献・配付資料等

理解を深めるための参考図書2点

1. マウス胚の操作マニュアル
2. マウス・ラットモデル作製・解析プロフェッショナル

オフィスアワー等（連絡先含む）

オフィスアワーは特に定めないが、事前に連絡してからメールもしくはWeb対応

その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）

他の授業科目との関連

ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）